



定植前に処理すれば畑でも効果が持続。  
アオムシ、コナガの密度が低くなるよ。

長野県南佐久郡川上村 鶴田 忠重さん(61歳)  
農業歴40年。グリーンボール(爽月)15a、レタス3ha、はくさい  
1haのほか、非結球レタスなども作付。



## アオムシとコナガは要注意。食害されると廃棄するしかないからね。

レタスやはくさいの連作障害を避けるために、グリーンボールを作付している、という高原野菜づくりのベテラン鶴田忠重さん。グリーンボールは苗づくりが大事、と言います。

「グリーンボールって発芽率があまりよくないんだよね。だから、株間は30cmぐらいあったほうがいいみたい。とにかく育苗期に苗を揃えておかないとダメ。それから、圃場の土づくりかな。有機肥料と化学肥料をバランスよく使うことだね」。

鶴田さんのグリーンボールは、6月中・下旬に播種、播種後15~20日で定植、8月下旬に収穫を迎えます。グリーンボールで要注意なのは、アオムシとコナガだね、と鶴田さん。

「アオムシはグリーンボールの中に入り込んでしまうと、芯から食べられてしまう。コナガが入り込んだ場合は、葉っぱが食べられて網の目みたいになる。どちらも当然出荷できないから、廃棄するしかないよね」。

ここ最近では以前と比べてアオムシ、コナガの発生が増えてきたことが気になっていた鶴田さんは、3年前からJAの紹介でアクタラ粒剤5(以下、アクタラ)を使い始めました。

## アクタラで密度を下げておけば、結球前の薬剤散布が減って助かるよ。

「最初はレタスのナモグリバエ対策としてアクタラを使い始めたんだ」と語る鶴田さん。その効果を確認して、グリーンボールにも使ってみることにしました。

「ずいぶん長い間、アオムシもコナガも抑えられるんだ。それと、薬害の心配も全然ないしね。とにかく安心して使えるよ」。

鶴田さんは、グリーンボールを定植する少し前の育苗時期に、株あたり2gのアクタラを株元散布していらっしゃいます。

「レタスもグリーンボールも、結球する前に害虫を防除しておかないと手遅れになるよ。中に入り込んでしまったら、いくら上から薬剤かけても害虫には効かないからね」。

「アクタラは、定植の少し前に根から吸わせておくから、畑に定植してからでも効果が長く続くんだ。アオムシとかコナガの密度が低くなるから、結球前の薬剤散布回数が減って助かるよ」。

天候と作物の生育にあわせた病害虫防除が必要、と語る鶴田さんのまなざしが印象的でした。



syngenta.

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階  
<http://www.syngenta.co.jp>

農業をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標 TMはシンジェンタ社の商標

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●薬剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器、空袋等は圃場などに放置せず適切に処理してください。;

※2005年9月12日現在の情報です。